

# コンバージョンをベースに 邸宅型家族葬会館ブランドを展開

株清月記／みおくり邸宅 名取 [宮城県名取市]

## コンビニエンスストア転用をメインにした 邸宅型家族葬会館

株清月記（本社仙台市宮城野区、社長菅原裕典氏）は、1985年に創業し、第1号会館である「仙台泉斎場 清月記」を泉区にオープン。以来同社の葬祭会館は「清月記」ブランドで展開し、2015年からは仙台屈指の社葬会場「仙台迎賓館 斎苑」の運営も手がけている。

このほか家族葬会館として「ファミリーユ」ブランド2会館（ともに太白区）、そして仙台迎賓館 斎苑の隣接地に開設した「家族葬ホール 斎苑」（青葉区）の3会館を展開している。

18年6月には、新たな家族葬ブランドとして「みおくり邸宅」を立ち上げ、その第1号会館として「みおくり邸宅 加茂」を泉区にオープ

ンした。

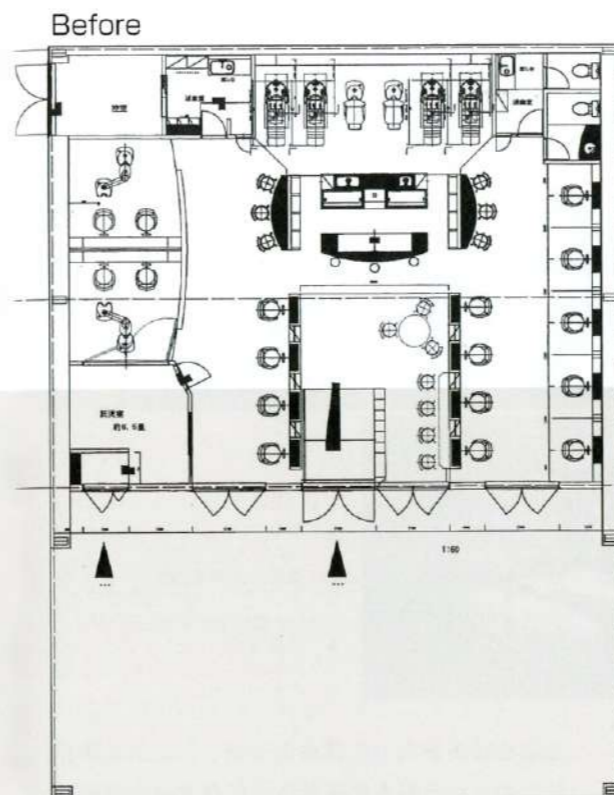
これを機に同社では家族葬会館の展開にシフト。19年7月「みおくり邸宅 中山」（青葉区）、19年11月「みおくり邸宅 柞江」（宮城野区）、20年9月「みおくり邸宅 沖野」（若林区）と展開し、今年に入って「みおくり邸宅 名取」（3月、名取市）、「みおくり邸宅 愛子」（5月、青葉区）、「みおくり邸宅 高森」（6月、泉区）と急ピッチで家族葬会館の整備を進めている。

以上のように、みおくり邸宅はこれまでに7会館を展開している。そのうち、直近の2会館については新築であるが、5会館が異業種店舗からのコンバージョンである。

1～4号店はコンビニエンスストアから、5号店である名取は美容院からの転用である。今回の特集はコンビニエンスストア以外からの転

図表 コンビニエンスストアからコンバージョンした「みおくり邸宅」

|       |   |  |
|-------|---|--|
|       |  |  |
| 会館名   | みおくり邸宅 加茂   | みおくり邸宅 中山  |
| 所在地   | 仙台市泉区加茂   | 仙台市青葉区中山   |
| オープン  | 2018年6月   | 2019年7月  |
| 転用前店舗 | コンビニエンスストア  | コンビニエンスストア   |
| 敷地面積  | 659.98㎡   | 1,276.92㎡  |
| 延床面積  | 157.1㎡  | 164.79㎡  |
| 式場    | 20席   | 20席  |
|       |  |  |
| 会館名   | みおくり邸宅 柞江   | みおくり邸宅 沖野  |
| 所在地   | 仙台市宮城野区柞江   | 仙台市若林区若林   |
| オープン  | 2019年11月  | 2020年9月  |
| 転用前店舗 | コンビニエンスストア  | コンビニエンスストア   |
| 敷地面積  | 985.08㎡   | 751.00㎡  |
| 延床面積  | 172.8㎡  | 198.95㎡  |
| 式場    | 20席   | 20席  |



### ■みおくり邸宅 名取の概要

[所在地] 宮城県名取市手倉田諏訪466-1  
 [オープン] 2021年3月  
 [敷地面積] 751.77㎡  
 [延床面積] 188.96㎡  
 [建物構造] 鉄骨造平屋建て  
 [転用前店舗] 美容院  
 [施設概要] 式場(20席)、会客室、遺族控室(1LDK)、導師控室、パントリー兼事務室

用事例を紹介するため、ここでは名取を取り上げるが、1～4号店の概要を図表に示した。

なお、中山の隣接地にあったコインランドリーをコンバージョンし、「みおくり邸宅 中山密葬館」としてこの7月から本格稼働させる。

本館であるみおくり邸宅 中山とはエントランスを分けているが、館内では行き来ができるようになっている。主に安置がメインになるようだが、4～6人程度の家族葬は可能であるほか、会食室や親戚・知人などの控室としても利用できるなど、ユーティリティ性の高い別館といえる。

### 美容院のコンバージョンで 名取市初進出

みおくり邸宅の設計・施工は清月記とは異なり、建設資材販売、新築注文住宅、戸建およびマンションのリフォーム工事、大中規模木造建築などを手がけるハウスメーカーの株式会社北洲（本社宮城県富谷市、社長村上ひろみ氏）に新たに

発注している。

一連のみおくり邸宅は同社特建営業部が担当している。介護・福祉施設、児童施設、医院、店舗、オフィスなどのいわゆる“非住宅”を手がけている部署であるが、これまで葬祭会館を手がけたことはなかった。

菅原社長は、同社村上社長との面識があり、邸宅＝家から見送るような葬祭会館を目指していたことから、ハウスメーカーである同社を指名した。従来の葬祭会館、式場・ホールという考え方ではなく、邸宅という居住空間を意識した設計をベースに、まず菅原社長が諸室の配置などを指示し、それにしたがって図面に落とし込んでいった。